

前号に引き続き「ドーハ日本人学校 その2」を特集します。

世界初！再開した日本人学校

世界には80以上の日本人学校があります。日本政府は義務教育の機会均等を掲げ、世界各国で働く日本人子弟にも日本式の教育を施すことを目的として日本人学校を設立しています。本校ができたのは昨年度ですが、実は新規の開校ではなく、2001年までドーハ日本人学校はありました。当時カタールの在留邦人が減り、日本人学校は閉校しました。今まで一度閉校した日本人学校が再開したことは世界でも例がありませんでした。しかしその後、カタールの経済成長とともに、再び在留邦人が急増し、日本人会の強い支えがあり、今回のドーハ日本人学校再開の運びとなりました。



昨年度のドーハ日本人学校開校式の様子

特色ある日本人学校をめざして

子どもたちにカタール在住年数を聞いてみると、「僕は2年間。」「私は幼稚園からだから3年」という答もあれば、中には「今年で5年目だよ」という子もいます。そのような子どもたちにとって、日本の生活というのは遠い記憶のことです。日本の四季や日本の伝統的な行事などについての知識に乏しいのが現状です。そのため、本校では子どもたちに日本の教育課程に基づく知識だけでなく、様々な行事を通して日本の基本的な生活文化についての指導も行っていくことを心がけています。



日本から取り寄せた理科教材で実験

ドーハ日本人学校の学校行事

本校で行われている様々な行事を紹介します。



運動会で披露したソーラン節



毎週がんばっている水泳の授業



全校児童生徒で行った書き初め会



スクールキャンプで行った潮干狩り



今までの学習の成果を披露した学習発表会



カタールの砂漠で行ったマラソン大会

様々な学校行事を通して、日本から遠く離れたここカタールで、日本のことを学びつつ、現地理解と国際理解を高めていく教育を行っています。世界にはたくさんの日本人の子どもたちが生活をしています。その数は60000人を越すとされています。将来、その子どもたちが帰国して日本で生活を送る上で不自由なく、十分力を発揮できるように、今後の指導にあたっていきたいと思います。